

日本光学会第9回定期総会議事録

日 時：2024年3月30日(土) 15:00~15:30

場 所：Zoom ミーティングにより実施

出席社員数(議決権行使・委任状出席を含む)：281名

議 事：総会成立の確認

- ・現会員数に対し過半数の定足数を満たしたことが報告され、本総会の成立が確認された。

1. 第1号議案

下記について担当理事および監事から報告が行われ、承認された。

1-1. 第9期事業報告

- ・第8期総会および4回の理事会、6回の総務委員会、および賞選考委員会の開催が報告された。
- ・第9期(2023年1月1日~2023年12月31日)の事業について報告された。

1-2. 第9期決算報告

- ・第9期の決算について報告された。

1-3. 監事報告

- ・事業報告および決算関係資料について監査した結果、適正であるとの報告がなされた。

3. 報告事項

- ・第10期事業計画が報告された。
- ・第10期予算計画が報告された。

第67回総務委員会議事要録

日 時：2024年1月20日(土) 13:00~16:00

場 所：Web 会議

出席者：川田善正会長, 他 15名

1. 審議事項

- ・OPJ 2024 に関する現在の進捗・検討状況について議論された。
- ・運営委員の改選について議論された。
- ・第50回冬期講習会の登録状況について報告された。
- ・第49回光学シンポジウムの開催に向けた進捗について議論された。
- ・第9回総会の議題について報告された。
- ・2024年度の総務委員会日程について議論された。

2. 報告事項

- ・「光学」, 「Optical Review」の現況について
- ・会員情報について

2024年度光学論文賞受賞候補者の募集

日本光学会では光学の分野における優秀論文の著者に対し、下記の通り光学論文賞を贈っています。光学論文賞は1960年に創設され、光学奨励賞とともに日本光学会の活動を示す重要な指標の役目を果たしております。光学論文賞は公募に応じた自薦、他薦の候補者から選考されます。奮ってご推薦ください。

受賞対象者：原則として表彰年度(2024年)の4月1日において満40歳以下の日本光学会会員であり、2023年1月から2023年12月までに発行された学術刊行物に発表された光学に関する原著論文の第一著者。詳細は光学論文賞規程をご覧ください(光学論文賞規定 <http://myosj.or.jp/about/provisions/thesis/>)。

提出書類：候補者の氏名、会員番号、生年月日、満年齢(公募締切日における)、勤務先、勤務先所在地、自宅住所、連絡先、電子メールアドレス、候補論文(1編)および関連論文名のリスト、全業績リスト(論文、口頭発表含む)、推薦理由(自薦他薦を問わず、論文の特徴、優れた点などを1,000字以内でわかりやすく記す)、候補論文1部、関連論文2編以内で各1部。他薦の場合は推薦者の氏名、勤務先、勤務先所在地、連絡先、電子メールアドレス。書類はE-mailでご応募ください。PDF形式ファイルまたはMicrosoft Word書式ファイルにて、すべてメールに添付してご送付ください。ご送付後、3営業日までに受領メールが届かない場合は事務局までご連絡ください。

書類提出期限：2024年6月28日(金)17時必着

提出先：一般社団法人日本光学会 事務局

〒112-0002 東京都文京区小石川 2-23-11 常光ビル7階
(有) 学術新報社内

電話 080-4186-1503 E-mail osj_ronbun@myosj.or.jp

2024年度「コニカミノルタ光みらい奨励金」募集のお知らせ

一般社団法人日本光学会では、新産業の創出につながるようなポテンシャルの高い光科学技術を進歩させるために、次世代を担う独創的な研究の奨励ならびに若手研究者の育成を目的として、「コニカミノルタ光みらい奨励金」を募集いたします。本会会員の皆様か、将来社会に向けて大きなビジョンを描き、学会のブレインネットワークの場を活用して独創的な研究を続けていただく一助になること

を期待しております。これから自らのアイデアを実現しようとする若手研究者の皆様の応募をお待ちしております。
募集分野：「光学」に関連する研究で、すでに研究途上のものでも、これから始めるものでもよい。基礎研究、応用研究のいずれでもよい。海外や他の分野との共同研究でもよい。

応募資格：一般社団法人日本光学会会員（学生会員含む）。ただし、学術振興会特別研究員など他機関の研究費の受給者は、機関が定める規定に注意すること。また、他の機関より研究助成を受給している場合は、研究題目も含めて申請用紙の研究者略歴に記載すること。

採択件数：①コニカミノルタ光みらい若手奨励金（30万円）1名（社会人と学生の応募から選考）、②コニカミノルタ光みらい学生奨励金（5万円）3名（原則として学生の応募から選考）

応募方法：日本光学会ホームページ（<http://myosj.or.jp/awards/>）より申請用紙をダウンロードし、必要事項を記載後、PDF ファイルを電子メールで送付する。なお、提案する研究が過去に公表された研究の延長である場合、提案の研究と過去の研究との差異を「独創的なポイント」にて明記し、参考文献（応募者が著者の文献に限る）があるときはその参照先を記載すること。

応募締切：2024年7月26日（金）17時必着

結果通知：選定結果は2024年9月下旬までに、申請のあった会員に通知する。表彰式は Optics & Photonics Japan 2024 にて行う。

奨励金の使途：研究目的であれば使途は限定されない。

奨励金受給者の義務：2025年12月31日までに研究報告書を提出する。コニカミノルタ光みらい若手奨励金の受給者は、研究成果を Optics & Photonics Japan 2025 で発表する。

申請書提出先および問合せ先：

一般社団法人日本光学会 光みらい奨励金担当

E-mail: hikari-mirai@myosj.or.jp

個人情報の取り扱いについて：

一般社団法人日本光学会事務局（E-mail: info@myosj.or.jp）までお問い合わせください。

後援：公益財団法人コニカミノルタ科学技術振興財団

※個人情報に関して：提案者の個人に関する情報は、日本光学会による研究会やフォーラムの案内、広報支援活動などの情報提供に利用させていただくことがあります。

2024年 第49回光学シンポジウム開催案内

期日：2024年6月19日（水）～21日（金）

開催形態：ハイブリッド方式を予定（現地とオンライン、講演者は原則現地参加、ただしチュートリアルはオンラインのみ）

主催：日本光学会

共催：応用物理学会フォトンクス分科会

参加登録：光学シンポジウム HP（http://myosj.or.jp/event2/opt_symp）

問合せ先：実行委員長 中井武彦（キヤノン）

optsymp49-aud@myosj.or.jp

チュートリアル（6月19日）（チュートリアル受講には別途参加申込が必要です）：「ライダーのいろはー基礎から応用まで」椎名達雄（千葉大学）/「フラットオブティクスのためのメタサーフェス入門」志村努（東京大学）

シンポジウム（6月20・21日、招待講演のみ抜粋して掲載）：「メタマテリアルを用いた光学迷彩技術」雨宮智宏（東京工業大学）/「抗原抗体反応の光誘導加速システムによる次世代医工計測への展開」飯田琢也（大阪公立大学）/「HMD 向け高効率パンケーキレンズ「ダブルパス方式」の紹介と光学設計」白倉奈留（シャープ）/「空中ディスプレイの社会実装と課題、及び今後の展望」大坪誠（ASUKANET）/「非接触、無調整で使用できる両眼視デバイスの開発」川崎智裕（ニコン）/「超高精度三次元測定機 UA3P とその最新ソリューションのご紹介」上村健太郎（パナソニックプロダクションエンジニアリング）/「レンズの収差・回折によるぼけを補正する Deep Learning 画像処理技術ーNeural network Lens Optimizerー」日浅法人（キヤノン）/「機能集積型光導波路照明素子による散乱・揺らぎ背後イメージング」渡邊恵理子（電気通信大学）

精密工学会第438回講習会「測長の基礎から応用ー精密光計測技術」

期日：2024年7月26日（金）

場所：中央大学後楽園キャンパス2号館2階2215室および2221室（東京都文京区春日1-13-27）

共催：精密工学会 / 精密測定技術振興財団

協賛：日本光学会、応用物理学会ほか

参加費：一般18,700円、学生2,200円

参加申込：下記 URL からお申込みください。

申込期限：2024年7月19日（金）

問合せ先：精密工学会 講習会係

電話 090-3507-1791 E-mail jspe_koushu@jspe.or.jp

URL <https://www.jspe.or.jp/custom-event/event-9954/>

JOEM 技術講座「レンズ設計法」

日 時：2024年7月18日(木) 10:00~16:20, 19日(金)

10:00~16:30 (新型コロナウイルス感染症の状況および対面希望者数によってオンラインに切り替え可能性あり)

場 所：ハイブリッド形式(対面+オンライン)。対面は機械振興会館別館4階、オンラインはMicrosoft Teams 使用。

主 催：日本オプトメカトロニクス協会

協 賛：日本光学会、日本光学工業協会、光産業技術振興協会、ほか

参加費：協賛 80,410 円(テキスト・消費税含む)

定 員：25名(うち対面は先着順で10名、対面/オンラインは申込時に選択)

申込期限：2024年7月9日(火)

問合せ先：日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail info@joem.or.jp URL <http://www.joem.or.jp>

JOEM 技術講座「LEDと半導体レーザーの基礎と応用」

日 時：2024年8月7日(水) 10:00~16:30 (新型コロナウイルス感染症の状況および対面希望者数によってオンラインへの切り替え可能性あり)

講 師：波多腰玄一氏(元東芝)

場 所：ハイブリッド形式(対面+オンライン)。対面は機械振興会館別館4階、オンラインはMicrosoft Teams。

主 催：日本オプトメカトロニクス協会

協 賛：日本光学会、応用物理学会、日本光学工業協会
ほか

参加費：協賛 44,880 円(テキスト・消費税含む)

定 員：25名(うち対面は先着順10名、対面/オンライ

ンは申込時に選択)

申込期限：2024年7月29日(月)

問合せ先：日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail info@joem.or.jp URL <http://www.joem.or.jp>

JOEM 技術講座「光学実験入門」

日 時：2024年8月22日(木) 10:00~17:30, 23日(金)

9:00~15:15

講 師：斎藤晴司氏(元ニコン)

場 所：機械振興会館別館4階(東京都港区芝公園3-5-22)

主 催：日本オプトメカトロニクス協会

協 賛：日本光学会、応用物理学会、日本光学工業協会
ほか

参加費：協賛 86,020 円(テキスト・消費税含む)

定 員：8名

申込期限：2024年8月9日(金)

問合せ先：日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail info@joem.or.jp URL <http://www.joem.or.jp>

JOEM 技術講座「波動光学の基礎」

日 時：2024年8月29日(木), 30日(金) 10:00~17:00

講 師：山口一郎氏(理化学研究所名誉研究員)

場 所：機械振興会館別館4階(東京都港区芝公園3-5-22)

主 催：日本オプトメカトロニクス協会

協 賛：日本光学会、応用物理学会、日本光学工業協会
ほか

参加費：協賛 80,410 円(テキスト・消費税含む)

定 員：10名

申込期限：2024年8月20日(火)

問合せ先：日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail info@joem.or.jp URL <http://www.joem.or.jp>

日本光学会 news の掲載申込先：

日本光学会 光学広報担当 E-mail koho@myosj.or.jp

メールの件名に「日本光学会 news 原稿」と記載してください。

なお、掲載申込は原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

掲載にあたっては、「日本光学会 news」の掲載基準を日本光学会ホームページでご確認ください。

「レーザー研究」第52巻第4号（2024年4月号）目次

「データ駆動型レーザー加工の進展」特集号

レーザーコンパス

研究人材の確保と育成…………… 神成文彦（175）

《特集》

レーザー解説

「データ駆動型レーザー加工の進展」特集号によせて
…………… 栗田隆史（178）
大規模その場測定によるレーザー加工のモデル化と最適化
…………… 谷峻太郎，島原光平，小林洋平（180）
デジタル光制御による高機能レーザー加工
…………… 長谷川智士，早崎芳夫（186）
パラメータ自動可変超短パルスレーザーによる最適加工条件探索
…………… 吉富大，高田英行，鳥塚健二，
小林洋平，奈良崎愛子（191）
超高速・テラヘルツ分光法を用いたレーザーアブレーション
初期過程の可視化
…………… 玉置亮，浅井岳，瀧川雄一，片山郁文（196）

産学連携によるレーザー加工データベースの構築とその活用
…………… 中里智治，田丸博晴，谷峻太郎，遠藤翼，乙津聡夫，
櫻井治之，小西邦昭，坂上和之，小林洋平（201）

レーザーオリジナル

リアルタイム任意波形制御ナノ秒ファイバレーザーの開発
…………… 酒井浩一，渡利威士，木根悠太，
倉田将輝，栗田隆史，川嶋利幸（207）

レーザーフラッシュ

研究室紹介

九州大学ナノ光情報応用研究室・たてらぼ……………（211）
レーザー学会50周年記念特別講演会報告…………… 山本和久（212）

著者紹介

セルフフォーカス……………（217）
レーザーカレンダー……………（224）
レーザーワード……………（200）

「応用物理」第93巻第6号（2024年6月号）予定目次

解説

固液界面における化学反応経路探索の新手法開発とその応用
…………… 大谷 実
光ニューラルネットワーク…………… 砂田 哲

研究紹介

色分離メタレンズを用いた高感度カラーイメージセンサ
…………… 宮田将司
圧縮センシングを用いた超高感度ハイパースペクトルカメラ
…………… 八子基樹，山岡義和，澁野剛治，石川 篤

リチウムイオン電池電極材料の相界面制御による高性能化
…………… 是津信行
レーザー誘起プラズマを活用した空気中での金属表面の窒化処理
…………… 大津直史

基礎講座

今更聞けない researchmap と学術情報の利活用…………… 新井紀子
Science As Art
こびとに贈るハート指輪…………… 鳴瀬 駿

一般社団法人日本光学会 賛助会員

2024年4月10日現在の本会賛助会員は下記のとおりです。掲載させていただくとともに、本会事業に対するご賛助に厚く感謝の意を表します。

株式会社朝日ラバー	株式会社タムロン
株式会社彩世	チームオプト株式会社
アンシス・ジャパン株式会社	中央精機株式会社
ウシオ電機株式会社	天進技術株式会社
株式会社 AAC Technologies Japan R&D Center	株式会社東芝
株式会社エビデント	株式会社東精エンジニアリング
株式会社エンプラス研究所	株式会社トプコン
オーウエル株式会社	株式会社ナック イメージテクノロジー
オプトシリウス株式会社	株式会社ニコン
株式会社オプトロニクス社	株式会社ニデック
オリンパス株式会社	一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会
キャノン株式会社	日本シノプシス合同会社
京セラ SOC 株式会社	日本真空光学株式会社
株式会社清原光学	パナソニックホールディングス株式会社
株式会社光学技研	浜松ホトニクス株式会社
興和株式会社	株式会社日立製作所
株式会社五藤光学研究所	華為技術日本株式会社
コニカミノルタ株式会社	Phase One Japan 株式会社
株式会社三恵舎	富士フイルム株式会社
株式会社シグマ	古野電気株式会社
小米日本合同会社	三菱ケミカル株式会社
株式会社スカイテクノロジー	株式会社リコー
ソーラボジャパン株式会社	以上 会員数 45 社, 61 口 (五十音順)